

グリーンコンシューマー 10原則について!

長野県長野工業高等学校 駒村亮明 小早川秀明

テーマ設定の理由

- 世界の環境を守るために現代社会の商品の消費や廃棄を見直すことが必要だと思ったから。

- SDGs

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

12 つくる責任 つかう責任

16 平和と公正をすべての人に



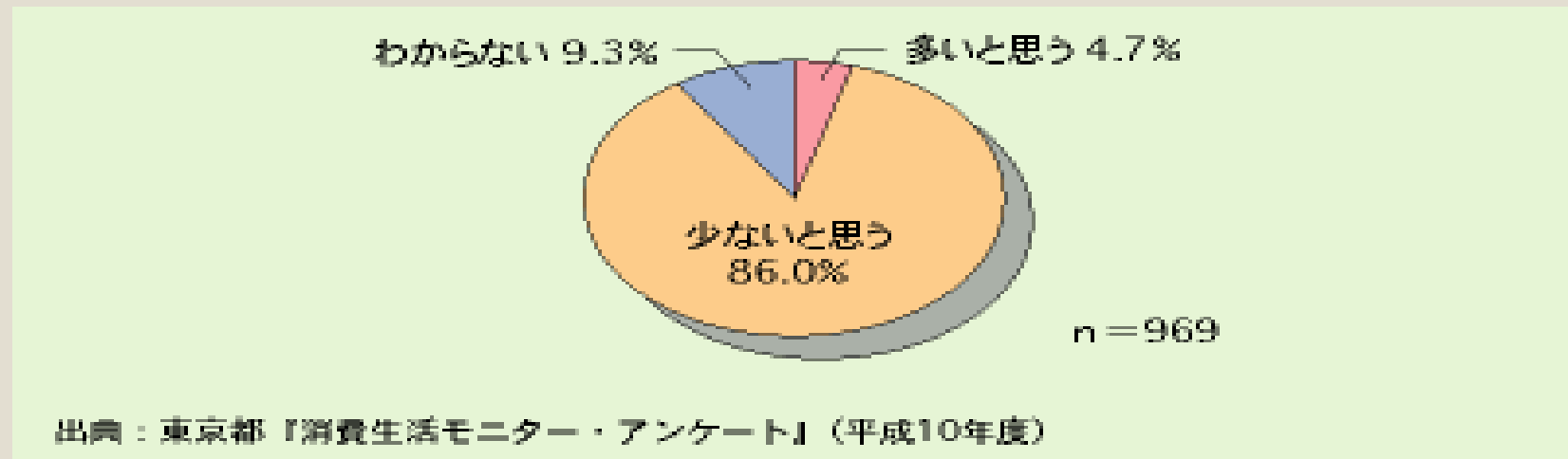
定義（グリーン・コンシューマー10原則）

- 1、必要なものを必要なだけ買う
- 2、使い捨て商品ではなく、長く使えるものを選ぶ
- 3、容器や包装は、ないものを優先し、次に最小のもの、容器は再利用できるものを選ぶ
- 4、作るとき、買うとき、捨てるときに、資源とエネルギー消費の少ないものを選ぶ
- 5、化学物質による環境汚染と健康への影響の少ないものを選ぶ
- 6、自然と生物多様性をそこなわないものを選ぶ
- 7、近くで生産、製造されたものを選ぶ
- 8、作る人に公正な分配が保証されているものを選ぶ
- 9、リサイクルされたもの、リサイクルシステムのあるものを選ぶ
- 10、環境問題に熱心に取り組み、環境情報を公開しているメーカーや店を選ぶ

現状

現状では、グリーン・コンシューマー10原則をすべて考慮して商品を購入することはできていない。

- ・社会全体において日ごろから環境に配慮して商品を買っている人が多いと思うかでは86%の人が社会全体で日ごろから環境に配慮して商品を買っている人が少ないと思っていることが分かった。



出典：東京都【消費生活モニターアンケート】(平成10年度)

問題点

- 世界ではゴミの量が非常に多い。
世界:1年間→ゴミ21億トン
※リサイクル率16%
- 大量消費や大量廃棄などの問題もある。
- 長野県平均→1日:811g(1人あたりのゴミ)
- 日本(全国平均)→1日:918g(1日あたりのゴミ)

今後の課題

- 10原則を守つた買い物を実施できていない人が多い。
- この原則をまだよく理解できていない人が多い。
- もっとグリーンコンシューマー10原則を広げていく必要がある。
- グリーン・コンシューマー10原則を意識して行えるか?

できていると思う:11.2%

ある程度できる:56.6%

あまりできていない:24.0%

まったくできていない:2.7%

わからない・無解答:6.6%

データ:環境市民

SDGS実現に向けて～10代からの提言～

- ・消費者にむけて

未来の世界のため、持続可能な社会を作るために有効な資源の使い方を心がけてほしい。

- ・企業にむけて

消費者が安心して健康を維持できる資源や食品を作るように心がけてほしい。

感想・考察

- グリーン・コンシューマー10原則についてを知れてよかった今回知った、グリーン・コンシューマー10原則の現状・問題点・課題をふまえて、SDGsに貢献できるように、地球で生きていきたいと思った。
- 現状では、グリーン・コンシューマー10原則をすべて考慮して商品を購入することはできていないので、企業・消費者の両方が環境に配慮した消費生活を意識する必要がある。
- 大量消費・大量廃棄の問題があった。また、世界のリサイクル率は16%と、低かったのもっと上げることによって、世界の環境問題の解決につながると思う。
- グリーン・コンシューマーを意識した消費生活ができていないと思って